

石狩市地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

石狩市は札幌市の北側に位置し、南北に長く日本海に面しており、面積は721.86km²、人口は約58,000人で、市全体の高齢化率は34.0%(令和6年10月時点)であるが、とりわけ浜益区の高齢化率は57.2%(令和6年10月時点)と極めて高く、生活交通の確保が重要であり、事業採算性を意識しながら、将来にわたり持続可能で利便性の高い公共交通体系を構築する必要がある。

そのため、住民ニーズに即し、かつバス交通に関する財政負担の軽減のため、浜益区内全域を網羅するとともに、地域間幹線系統(北海道中央バス・沿岸バス)との接続を目的とした、地域特性に応じた地域旅客運送サービスを提供し、市民の生活利便性の向上を図ることを目的とする。

地域公共交通の現況

- ・北海道中央バス株式会社(市内19路線)
- ・沿岸バス株式会社(市内1路線)
- ・浜益滝川間乗合自動車(1路線)
(自家用有償運送)
- ・スクールバス(10路線)(混乗含む)
- ・タクシー会社2社

生活交通確保維持改善計画の目標

浜益厚田間乗合自動車運行事業 年間利用者数 1,527人
(令和5年10月～令和6年9月)

協議会開催状況

令和5年8月3日 令和5年度第2回協議会
・地域公共交通確保維持改善事業について
令和5年12月27日 令和5年度第4回協議会
・地域公共交通確保維持改善事業の自己評価について
令和6年6月6日 令和6年度第1回協議会
・地域公共交通確保維持改善事業に係る計画認定申請について
令和6年11月26日 令和6年度第3回協議会
・地域公共交通確保維持改善事業の自己評価について

令和6年度事業概要

浜益南北方面	浜益東方面	厚田方面
雄冬や柏木などの各戸～幹線交通または浜益温泉や診療所など運行(予約制デマンド方式)	浜益、柏木、川下、実田、御料地各戸～幹線交通または浜益温泉、診療所など運行(予約制デマンド方式)	浜益区内各戸～中央バス札厚線運行(予約制デマンド方式)

令和6年度事業の実施状況

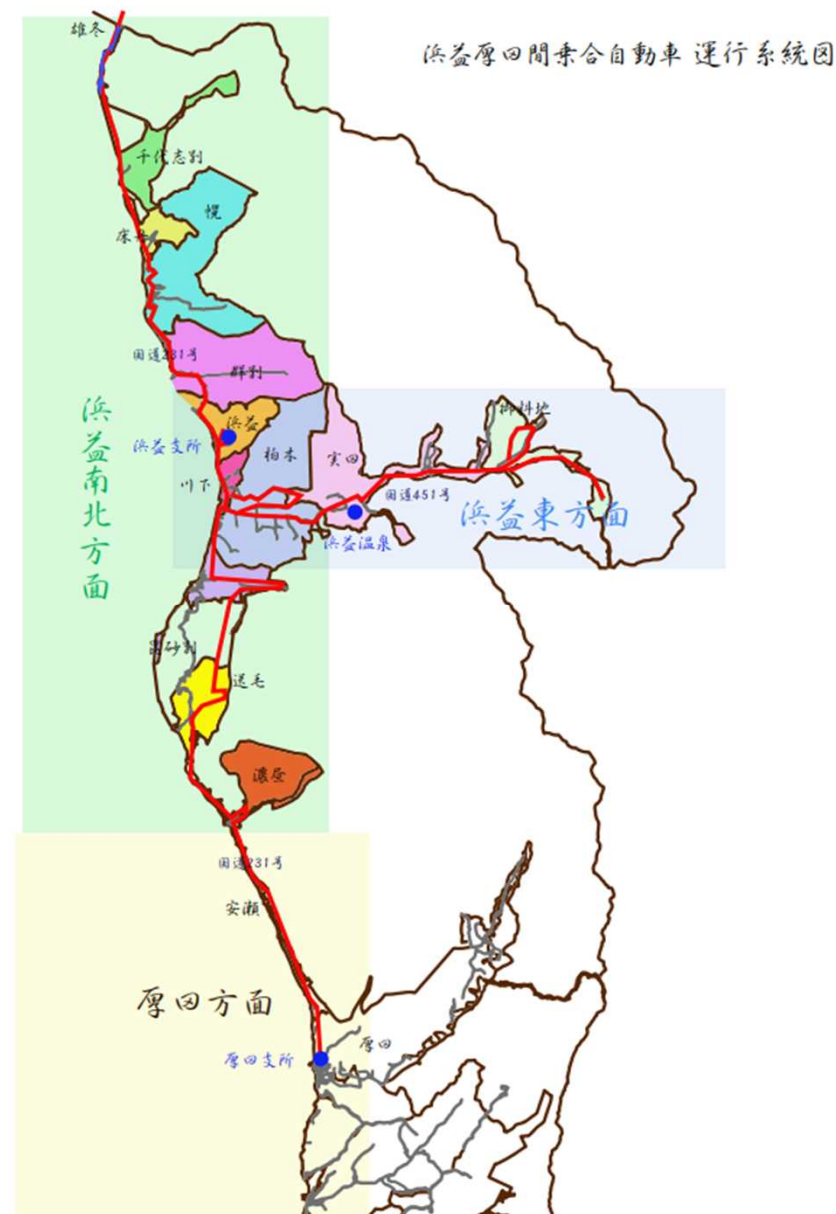
1) プロセス、創意工夫

利用促進を図るよう努めた。

【利用促進】

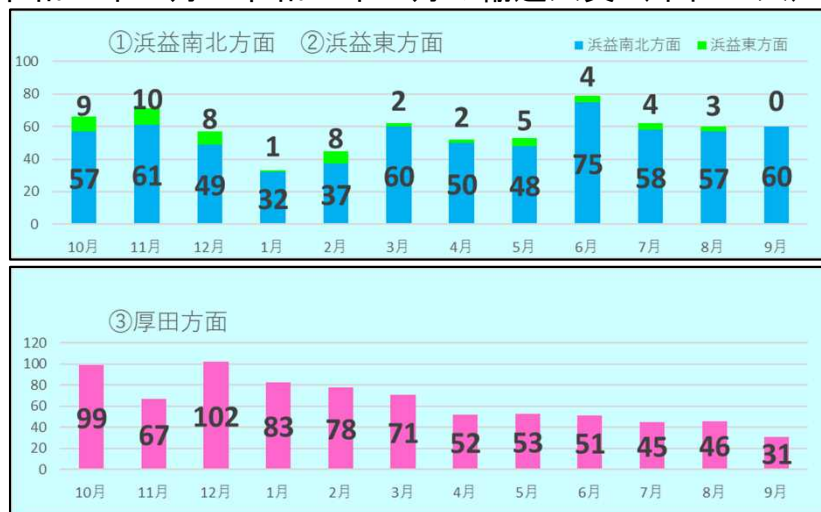
- ・ポスター及び名刺サイズの周知カードを継続して設置
- ・中央バス札厚線の車内において、デマンド交通の乗り継ぎアナウンスを実施

2) 運行系統

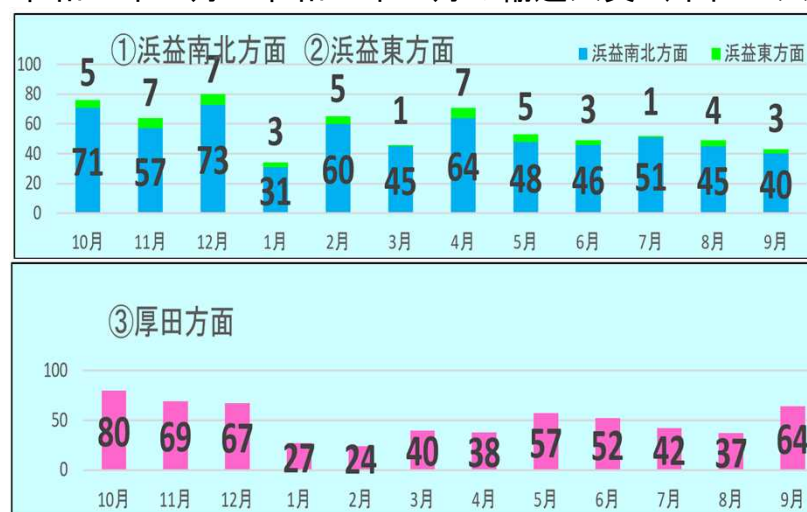


3) 利用実績

令和4年10月～令和5年9月の輸送人員（単位：人）



令和5年10月～令和6年9月の輸送人員（単位：人）

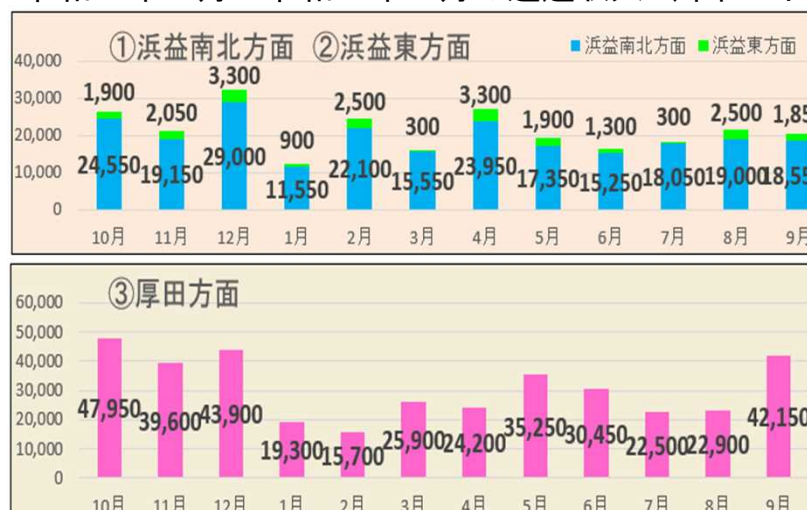


4) 収入実績

令和4年10月～令和5年9月の運送収入（単位：円）



令和5年10月～令和6年9月の運送収入（単位：円）



5) 事業実施の適切性

浜益南北方面の系統は実績運行回数が計画を上回った一方、浜益東方面及び厚田方面は下回ったが、事業は適切に実施された。

6) 目標・効果達成状況

【事業の目標】

年間利用者数(令和5年10月～令和6年9月)

目標: 1,527人

実績: 1,279人

運行を年々積み重ね、利用者は増加傾向であったが、今年度については利用実績が振るわなかった。

7) 事業の今後の改善点

引き続き利用者ニーズの把握に努め、運行委託事業者と連携して利便性等の向上に向けた改善を図っていくとともに、さらなる利用者増に向けてより一層の周知を図る。

また、運行の安全対策を徹底し、利用者の安寧な移動環境が創出できるよう努める。

8) 地方運輸局等における二次評価結果

- ・自己評価のとおり、事業は適切に実施されている。
- ・目標を達成することができなかったが、引き続き利用者ニーズの把握に努め、利用促進につながる取組が実施されることを期待する。
- ・持続可能な公共交通を維持する観点から、収支率といった事業効率の改善につながる目標を設定することをご検討いただきたい。